

全建発第27～129号
平成27年 7月21日

一般社団法人 全日本建設技術協会

会長 松田 芳夫

印省略

第615回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新） 開催について

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

本会は国土交通省、農林水産省、地方公共団体、機構・公社等に勤務する建設関係職員約6万3千名をもって構成され、建設技術関係者の技術水準及び社会的地位の向上を図り、建設関係施策の円滑な推進及び良質な社会資本整備に資することにより、社会の発展と公共の福祉の向上に寄与することを目的とした公益法人であります。

さて、私ども公共事業に携わる建設技術者は、災害に負けない国土・地域づくり、入札契約制度改革と公共工事の品質確保、アセットマネジメントと公物管理の課題、PPPやPFIを活用した官民連携による社会資本の整備など、多くの課題に取り組みながらこれらの要請に答えていく必要があります。技術力や企画・立案、説明力、交渉力など多様な資質の一層の向上が求められています。

本会の建設技術講習会は、公共事業に係る諸課題解決や実務の習得、最新技術情報の収集等業務に直接役立つ内容となっております。このたびの第615回建設技術講習会では、維持管理・更新における課題と施策及びその実施体制や実施状況について、各分野（河川、道路、下水道、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例について学ぶとともに、公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点について最新の情報を得ることを目的としています。本講習は、公共事業の効率的かつ円滑な執行に寄与するとともに、職員の技術力等の向上に資するものと考えております。

以上の趣旨を御理解のうえ、本講習会を研修の場として活用され、貴職職員が多数参加されますよう、特段の御配慮をお願い申し上げます。

謹白

地方協会長 殿

一般社団法人 全日本建設技術協会
会 長 松 田 芳 夫 印
省略

第615回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）開催について

本協会事業について、平素よりご協力にあずかり厚くお礼申し上げます。

本協会では、平成27年9月16日（水）～18日（金）、長久手市において標記講習会を開催いたします。

この講習会では、維持管理・更新における課題と施策及びその実施体制や実施状況について、各分野（河川、道路、下水道、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例について、公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点についての最新の情報と具体的な取り組み事例を学ぶことを目的としています。

なお、本講習会は愛知県（予定）・長久手市の共催、国土交通省の後援のもと実施することとしています。

①会場及び日程：別紙日程表のとおり

②聴 講 料：一般（非会員） 18,400円
一般（非会員）（開催県内の国・県・政令市に勤務） 13,400円
一般（非会員）（開催県内の市町村に勤務） 2,000円
正会員・特別会員・賛助会員 13,400円
正会員（30歳未満〔全国〕、地元〔開催県内の国・県・政令市に勤務〕） 2,000円
正会員（開催県内の市町村に勤務、地元学生） 無料
※昼食の幹旋はありません ※聴講のみの参加は可能です
※正会員（30歳未満、地元）は割引価格のため取り消しはできません
※一般/会員の確認をしますので、申込み区分を間違えないようにして下さい

③現場研修料：8,200円〔うち昼食代1,200円〕
※現場研修のみの参加はできません

④申 込 方 法：申込書に必要事項を記入し、申込金〔銀行振込の控え〕を添えて期限までにメール又は郵送にて全建事務局までお申込み下さい。
開催当日に会場でのお支払い等は受け付けできません。

⑤申込書送付先：（一社）全日本建設技術協会 事業課 Mail: kensyu@zenken.com
〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-13 ヒューリック赤坂ビル7F
TEL：03-3585-4546 FAX：03-3586-6640

⑥振込銀行口座：三菱東京UFJ銀行 赤坂見附支店 普通 0311142
口座名義：シャ）ゼンニホンケンセツギジュツキョウカイ
※必ず、お振込人名義（協会名）の前に、開催回数の「615」をつけ加えて下さい
※振込手数料はご負担願います

⑦申 込 締 切 日：平成27年8月28日（金）必着（締切日以降に到着したものは受理できない場合があります）

※申し込みの取り消しについては下記のように処理いたします。講習会終了後に所属協会指定口座へご返金いたします。なお、振込手数料を差し引いた金額をお振込させていただきます。

①	平成27年9月4日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の全額を返金
②	平成27年9月11日（金）までの取り消し	聴講料、現場研修料の半額を返金
	上記②を過ぎてからの取り消し	返金できません

※テキスト及び聴講料・現場研修料の領収書は当日受付にて、受講証は講義終了後にお渡しいたします。

※事故防止のため自家用車での参加はご遠慮願います。特に、現場研修時は一切お断りいたします。

第615回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）日程

～これからの維持管理・更新における課題と施策及び新技術の活用、 民間との連携等の具体の取り組み事例、公物管理を巡る紛争事例を学ぶ～

- ・維持管理・更新における課題と施策及びその実施体制や実施状況について
- ・各分野（河川、道路、下水道、港湾）における維持管理・修繕の最新の取り組み事例
- ・公物管理を巡る紛争事例の動向とそれを踏まえた今後の留意点について

会場 …… 長久手市文化の家（1階森のホール）
〒480-1166 長久手市野田農201 TEL0561-61-3411(代)

(1日目)	平成27年9月16日(水)	(敬称略)
12:40 } あいさつ 13:00	愛知県知事 長久手市長 (一社)全日本建設技術協会 専務理事	大村 秀章 吉田 一平 中嶋 章雅
13:00 } 社会資本の維持管理・更新のあり方について 14:00	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官	佐藤 寿延
14:10 } 最近における公共事業紛争の判例と動向 15:40	扶桑共栄法律事務所 弁護士	細見 孝二
15:50 } 【地元自治体の取り組みの紹介】 第32回都市緑化あいちフェアについて 16:10	愛知県建設部建設企画課 主任主査	浅岡 弘暢
16:10 } 【地域事業の紹介①】 国道419号高浜立体事業について 16:40	愛知県建設部道路建設課 主査	小谷 祐史
16:40 } 【地域事業の紹介②】 日光川水閘門改築事業について 17:10	愛知県建設部河川課 主査	長谷川 勝彦
「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」 ＜希望者のみ＞（18:30～20:00(予定)）		プリンセスガーデンホテル 3階「ジャスミン」 TEL052-262-4111
(2日目)	9月17日(木)	(敬称略)
9:20 } 公営住宅における維持管理・修繕の取り組みについて 10:10 ～公営住宅の長寿命化に向けて～	国土交通省住宅局住宅総合整備課 企画専門官	村上 慶裕
10:20 } 港湾施設の維持管理に関する取り組みについて 11:10	国土交通省港湾局技術企画課 首席港湾工事安全推進官	富田 幸晴
11:20 } 下水道におけるアセットマネジメントについて 12:10	国土交通省水管理・国土保全局下水道部 下水道事業課 企画専門官	本田 康秀
13:30 } 【特別講演】 伝統的な名古屋の食文化 14:30	東海学園大学 特任教授	安田 文吉
14:40 } 河川における戦略的な維持管理の取り組みについて 15:30	国土交通省水管理・国土保全局河川環境課 河川保全企画室長	若林 伸幸
15:40 } 道路の老朽化対策の本格実施について 16:30	国土交通省道路局国道・防災課 道路保全企画室 企画専門官	田中 倫英
16:30 } 閉会のあいさつ	愛知県建設技術協会長 (愛知県建設部技監)	山田 祥文
(3日目)	9月18日(金)	【現場研修】

久屋大通公園駐車場（テレビ塔北側駐車場）（8:15）出発
 → 第32回全国都市緑化あいちフェア（下車説明） → 昼食（高浜市内）
 → 日光川水閘門改築事業（下車説明） → 名古屋環状2号線西南部事業（下車説明）
 → JR名古屋駅（17:00）着後解散

※解散時刻は道路混雑等の交通事情により多少超過する場合がありますので予めご了承ください。
 ※講習会日程・現場研修は都合により、講師・講義内容・現場研修コースなどに変更が生じる場合があります。

1 第32回全国都市緑化あいちフェア

長久手市 他

全国都市緑化フェアは国土交通省の提唱により、都市緑化意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、もって緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的として、毎年各地で開催されています。第32回全国都市緑化あいちフェアは、愛・地球博記念公園をメイン会場に、平成27年9月12日から11月8日までの58日間、テーマは、【緑のある暮らしの明日を愛知から「花を愛し、緑のチカラを知る 全国都市緑化 愛・知 フェア】として開催します。

第32回を迎える愛知県の全国都市緑化フェアは、来場者はもとより広く全国の人々に、もっと「花」を愛し、もっと「緑」の力を知ってもらう、愛・知・緑化フェアとして開催します。そして、「愛知万博からの10年」を踏まえ、「自然の叡智」というテーマや成果が暮らしの中の緑にどう浸透したかを発信するフェアとするとともに、緑の力の「見える化」等により、花や緑のある暮らしのすばらしさが実・体感できるフェアとすることとしています。さらに、これからの花と緑のまちづくりに欠かすことのできない県民協働を積極的に推進し、フェアが一過性の効果で終わらずに時間的・空間的に連続し、花と緑のまちづくりとして持続継続することを目指します。4つの基本方針のもと、愛知県らしい発信力をもった全国都市緑化フェアの開催を目指すとともに、事業運営、協働体制づくり、会場計画等、新たなフェアを試行することとしています。

- 【基本方針】①既存ストックの魅力を活用するフェア ②みどりのチカラを体感するフェア、
③協働をエンジンとするフェア ④愛知県ならではのフェア



2 日光川水閘門改築事業

海部郡飛島村

日光川流域は一宮市、津島市をはじめとする9市2町1村からなり、中下流部はわが国最大の海拔ゼロメートルを下回る地域となっており、流域の約2/3は雨水排水にポンプによる強制排水が必要となっています。

日光川水閘門は日光川河口に位置し、現施設は昭和34年の災害史上未曾有の高潮被害を愛知県にもたらした伊勢湾台風の復旧事業によって昭和37年完成し、竣工以来、日光川流域の防災の要として住民の安全安心に寄与してきました。その日光川水閘門も建設後50年近くが経過し、本体の老朽化の進行や地盤沈下の影響による高潮に対する必要な高さ不足や流下能力不足、さらには東海地震、東南海・南海地震などの大規模地震の際には損傷により機能が損なわれ、地震後来襲する津波を防護できない可能性があることから改築が必要となってきました。改築予定位置については、水閘門改築の施工期間の洪水に対する影響や周辺環境への影響を最小限にすることなどを考慮し、現水閘門の下流側としました。



現水閘門は水門8門、閘門が1門ですが、経済性、流下能力等から水門4門、閘門1門で径間長20mとしました。水門敷高は日光川本川の改修計画で定められた流下能力を確保できるT.P-5.8mとしています。大規模地震及び不同沈下への対応として、躯体は、鋼板と鉄筋コンクリートを用いて造る鋼殻構造といった丈夫な構造を採用することとしました。

また、地球温暖化に伴う海面上昇や広域地盤沈下にも対応できる構造としました。これら、海面上昇等の進行程度は、現在の予測では不確実な状況でありますので、実施した対策が将来的に無駄にならないよう、将来的に対策が困難な躯体及び基礎などは、海面上昇等を考慮して先行的に対策を行うこととし、将来的に対策可能なゲートなどは、気候変化量に合わせた確認型の対策を行うこととしました。愛知県では、平成19年度に国の補助事業である「大規模河川管理施設機能確保事業」の採択を受け、更なる安心安全に対応した新水閘門が1日も早く完成できるよう改築事業を進めおり、平成29年度に完成予定です。

3 名古屋環状2号線西南部事業

海部郡大治町

名古屋環状2号線は、名古屋市周辺の10km圏内に位置する延長約66kmの環状道路で、名古屋第二環状自動車道【名二環】や伊勢湾岸自動車道などの自動車専用道路（専用部）と、国道302号（一般部）で構成されています。専用部は、名古屋西JCT～飛鳥JCT（仮称）を除き、既に開通しており、早期全線開通を目指し工事がすすめられています。

名古屋港に直結し、名古屋環状2号線の専用部がない西南部・南部Ⅱ区間における国道302号は、名古屋港の物流道路として国際コンテナを積載した大型車の交通量が多く、国道302号梅之郷交差点を中心に慢性的な渋滞が発生しています。また、国道302号梅之郷交差点の北に位置する名古屋市中川区・港区では、国道302号沿道周辺に住宅や大型商業施設が進出し、朝夕の通勤による混雑に加え、名古屋港を利用する大型車（物流交通）が市街地を通行するなど、安全上の問題が顕在化しています。これらの問題を抱えている都市空間において、用途に合った交通特性にするため、名古屋環状2号線の早期整備が必要です。

現在、専用部については、国土交通省・中日本高速道路株式会社により、事業が進められています。



第615回建設技術講習会の宿泊斡旋及び予約申込案内

宿泊斡旋：宿泊希望者には名古屋市内のホテルを下記のとおり斡旋いたします。

なお、宿泊代金につきましては、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。

宿泊予約申込：別紙申込書に必要事項を記入し、全建事務局にお申し込み下さい。

問い合わせ先：西鉄旅行(株) 首都圏営業部 東京支店 TEL:03-6742-0324 FAX:03-6742-0328
〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 (JFAハウス5階) 「全建担当デスク」迄
申込後の宿泊予約の取り消しや変更については、上記までご連絡下さい。

※取り消しについて

宿泊日の前日から起算してさかのぼって		当日 (宿泊開始前)	宿泊開始後及び 無連絡不泊
4日前まで	3～1日前 (前日)		
無料	宿泊代金の20%	宿泊代金の80%	宿泊代金の100%

土日祝日及び営業時間外でのキャンセルの場合は、翌営業日での取り扱いとさせていただきます。
取消料に関しましては、ご本人様へご連絡の上、ご請求させていただきます。

斡旋する宿舎名、宿泊料

平成27年9月15日(火)、16日(水)、17日(木)

(1泊朝食付、サービス料・消費税含む)

宿舎名	所在地・電話番号	部屋タイプ	宿泊人数	宿泊代金
ザ・ビー名古屋	名古屋市中区栄4-15-23 Tel.052-241-1500	シングル	30名	7,800円

※禁煙・喫煙の希望を承ります。空室状況により消臭対応となる場合がございます。予めご了承下さい。

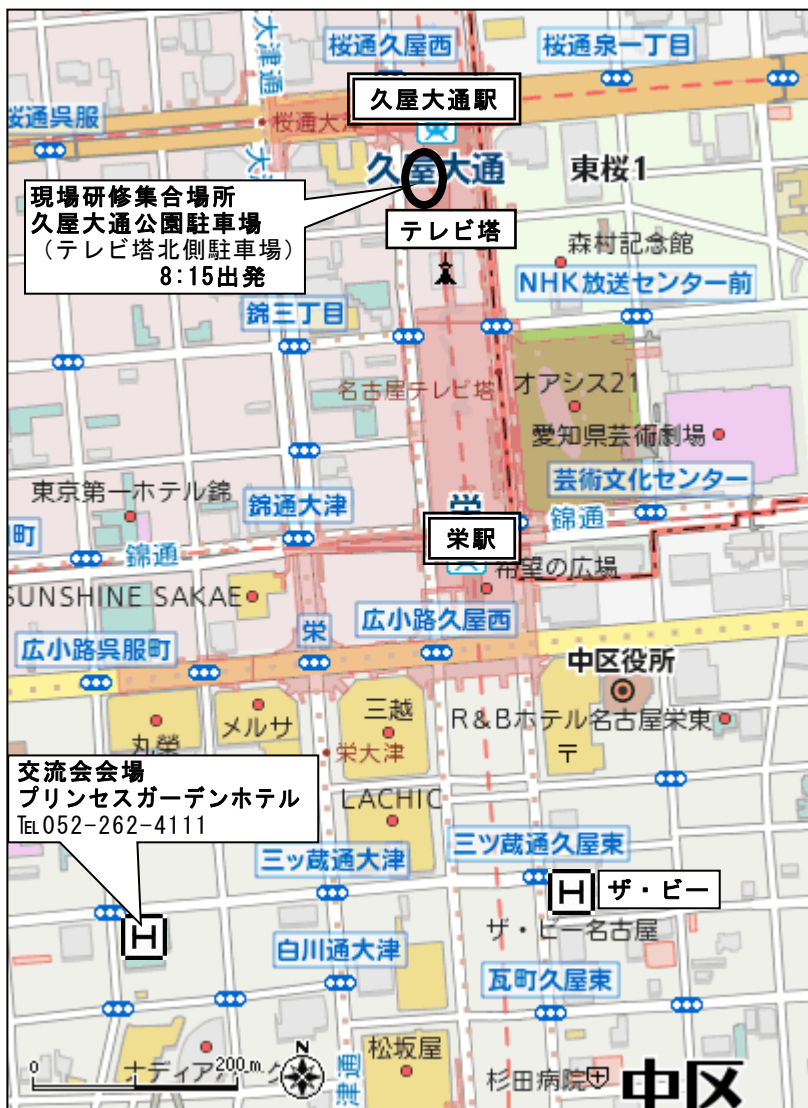
※宿舎が決定次第、西鉄旅行(株)より「宿泊案内」が送付されます。

案内図 (広域)



宿舎まで：名古屋駅より栄駅まで地下鉄東山線にて5分、13番出口より徒歩3分
 会場まで：名古屋駅より藤が丘駅まで地下鉄東山線にて30分
 リノモはなみずき通駅 下車徒歩7分

宿舎・交流会会場・現場集合場所周辺図



会場周辺図



一般社団法人 全日本建設技術協会 殿

協会名 _____
(特別・賛助会員名、会社名)

第615回建設技術講習会（これからの社会インフラの維持管理・更新）申込書

<個人情報の取扱いについて>

申込書に記載された個人情報については、参加者が円滑に講習会に参加できるよう連絡等に使用させていただくほか、宿泊機関等の手配及びそれらのサービスの受領手続きに必要な範囲内で利用させていただきます。

参加者		勤務先 (所属課名まで記入のこと)	聴講者別			現場研修	交流会	宿泊申込		
(フリガナ) 氏名 (女性は番号に○をつけて下さい)	年齢		一般 (非会員)	正 会 員	正会員 30 歳 未 満			9月 15日	16日	17日
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
聴講料 ※一般/会員の確認をします。申込み区分を間違えないようにして下さい。 一般(非会員) 名×18,400円＝ 円 正会員・特別会員・賛助会員 名×13,400円＝ 円 正会員(30歳未満、地元) 名×2,000円＝ 円 ※正会員(30歳未満)とは、全国の30歳未満の「正会員」 ※正会員(地元)とは、開催県内に勤務する「正会員」(特別会員・賛助会員除く)						↑ 現場研修 の昼食は 不要の申し 出はできま せん※	宿泊代金は、ホテルチェックイン時に全額お支払いください。 禁煙・喫煙の希望がある場合には、「○禁」、「○喫」のように記入してください。			
現場研修料 名×8,200円＝ 円										
計						円				

↓全建に振込

【お申込み時の注意について】

正会員(30歳未満)でお申込みの方は必ず年齢をご記入ください。

【お申込みについて】

必要事項を記入し、申込金[銀行振込の(写)]を添えて期限までになるべくメール又は郵送にてお申込み下さい。

【変更・取り消し・追加方法について】

電話での受付はいたしません。また、正会員(30歳未満、地元)は割引価格のためキャンセルはできません。

本紙に、変更・取り消し・追加箇所がわかるようにご記入いただき、「再送」と明記の上、メール又はFAXをお送り下さい。

取り消しをする際には開催案内に記載しているキャンセル料がかかります。

【聴講時の昼食について】

昼食の斡旋はありません。

【現場研修時の昼食について】

現場研修については行程の都合上、全員の昼食の用意をしますので、不要の申し出はできませんのでご了承下さい。

第615回建設技術講習会に参加の皆様へ！

「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を開催します



(一社)全日本建設技術協会では、「参加者同士の交流会・講師との意見交換会」を実施しています。これは、全国から本会講習会にご参加いただく方々の交流と、講演いただく講師の方にもご参加いただき、質疑応答や交流をはかる場としています。

ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

日時：平成27年9月16日(水) 18:30～20:00(予定)
(第615回建設技術講習会 1日目講義終了後)

場所：プリンセスガーデンホテル 3階「ジャスミン」

会費：2,000円(講習会受付時に徴収)

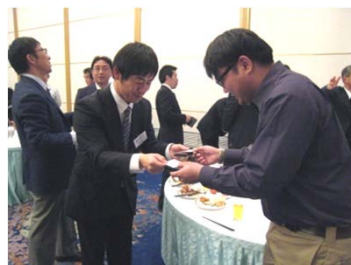
※参加希望の方は申込書の「交流会」欄に○印を記入して下さい。

※この交流会は会費制です。

※参加される方は必ず名刺を持参して下さい。

※立食パーティ形式でご当地グルメ等を用意しています。

※開催時間は変更が生じることもありますので、講習会場にてご案内いたします。



【交流会参加予定の講師】

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ・国土交通省総合政策局公共事業企画調整課 事業総括調整官 | 佐藤 寿延 講師 |
| ・扶桑共栄法律事務所 弁護士 | 細見 孝二 講師 |
| ・国土交通省住宅局住宅総合整備課 企画専門官 | 村上 慶裕 講師 |
| ・国土交通省港湾局技術企画課 首席港湾工事安全推進官 | 富田 幸晴 講師 |
| ・国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道事業課 企画専門官 | 本田 康秀 講師 |
| ・愛知県建設部建設企画課 主任主査 | 浅岡 弘暢 講師 |

※講師の都合により変更になる場合があります。



1. 講習会の参加者同士の交流促進をはかる
 - ①参加者の知見と人脈を広める(名刺交換)
 - ②意見交換・情報交換
2. 参加者と講師との交流・懇談
 - ①講師との交流
 - ②質疑応答など
3. 地元協会による催し(予定)

※都合により内容に変更が生じることもあります。

<問合せ>



(一社)全日本建設技術協会 事業課 講習会担当
TEL 03-3585-4546 MAIL kensyu@zenken.com